

能登産業技術専門校 中期経営目標
(実施期間 平成27年度～平成29年度)

平成27年3月 策定

1 施設の設置目的

「職業能力開発促進法」に基づき、離職者に対して職業訓練を行い、時代のニーズにあった実践的技術・技能者を育成することにより、職業の安定と労働者の地位向上を図るとともに、地域産業界に寄与することを目的として設置しています。

2 施設の果たすべき役割

奥能登地域における職業能力開発の拠点施設として、離職者の就職支援に向けた職業訓練を行っています。

3 事業内容

離職者訓練

再就職を目指す離職者を対象とした職業訓練及び再就職支援を行っています。

- ・造園科（6ヶ月訓練 定員20人（年間40人））

造園用機械等の操作方法及び造園作業において必要な知識と技能習得のための訓練を行っています。

- ・建築科（6ヶ月訓練 定員20人（年間40人））

建築用機械の操作方法及び小規模建築物の施工及び修繕等において必要な知識と技能習得のための訓練を行っています。

- ・OA科（6ヶ月訓練 定員10人（年間20人））

OA機器の基本的な操作方法及び一般事務等の知識と技能習得のための訓練を行っています。

- ・情報ビジネス科（6ヶ月訓練 定員10人（年間20人））

簿記会計の基本的処理能力及び一般事務等の知識、並びにOA機器の基本的な操作方法等の知識と技能習得のための訓練を行っています。

4 現状と課題

(1) 離職者の支援について

- ・就職支援について

近年、雇用情勢の回復により、職業訓練を受講せずに再就職を目指す離職

者増加しているため、入校率減少傾向にあります。

訓練内容については、訓練期間修了後、企業での即戦力となれるように実践的な訓練を行っており、入校状況や企業ニーズ等を把握しながら、現在、現場で主流となっている作業方法を実習に取り入れるなどの訓練内容や科目の見直しを行い、効果的な訓練を行っています。

また、就職を支援するため、ハローワークと連携を密にし、求人情報を収集するとともに企業と連絡を取り求人の開拓をしています。

こうした取り組みにより、訓練生の就職率の向上に努めるとともに、企業が必要とする人材を育成するべく、引き続き、取り組みを強化していきます。

(2) 施設運営の効率化について

施設運営の効率化に向け、積極的な節電（照明・冷暖房）をはじめとした維持管理の工夫に取り組んできたところであり、今後とも、経費の節減・効率化に努めていくこととしています。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標

離職者就職率を3年間で70%以上に向上させます。

(2) 測定指標と目標値

測定指標	H25実績値	目標値（H29）
離職者就職率	68%	70%以上

6 目標達成に向けた具体的な取組内容

○離職者の支援について

- ・訓練生に対して、訓練の理解度や習熟度の向上に向けたアンケートを実施し、訓練内容の充実を図ります。
- ・ハローワークへの就職斡旋協力の要請や、企業からの求人の開拓を引き続き実施します。
- ・訓練生の適性や雇用情勢を鑑みたアドバイスの実施など、今後ともきめ細かな就職支援を行います。
- ・新たに、訓練生の就職意欲を高めるため校長やOBによる就職講話会を実施します。

参考資料

1 施設の利用状況

(1) 利用指標（利用人数、稼働率などの状況）

指標	H 2 3	H 2 4	H 2 5
入校率	77.5%	75.0%	62.5%
造園科	102.5%	95.0%	75.0%
建築科	35.0%	45.0%	15.0%
OA科	100.0%	95.0%	100.0%
情報ビジネス科	90.0%	75.0%	95.0%
入校者数	93 人	90 人	75 人
造園科	41 人	38 人	30 人
建築科	14 人	18 人	6 人
OA科	20 人	19 人	20 人
情報ビジネス科	18 人	15 人	19 人
応募倍率	0.84	0.88	0.75
造園科	1.03	1.13	0.85
建築科	0.35	0.45	0.30
OA科	1.40	1.20	1.40
情報ビジネス科	0.90	0.90	0.95
就職率	60.0%	48.9%	67.6%
造園科	48.8%	44.7%	43.3%
建築科	25.0%	27.8%	60.0%
OA科	89.5%	63.2%	85.0%
情報ビジネス科	77.8%	66.7%	89.5%

2 収支の状況（単位：千円）

※平成23年度より能登産業技術専門校の庶務業務（予算執行事務）を七尾産業技術専門校へ統合しました。

3 利用者1人あたりの一般財源投入額

※平成23年度より能登産業技術専門校の庶務業務（予算執行事務）を七尾産業技術専門校へ統合しました。